



「祭」とともに春が来た

塩竈に春を告げる「鹽竈神社花まつり」と花まつりの奉祝行事である「しおがま市民まつり」が開催され、多くの人でにぎわいました。市民まつりでは、毎年恒例のジャンボ鉄火巻作りのほか、チビッコ広場の目玉である「おさかなてつどう」に乗ったりと、子どもから大人まで楽しんでいました。
(4月24日 市内)



夏漁シーズン到来

昨年よりも2カ月ほど早くカツオ・マグロまき網船が入港しました。ホンマグロ147本、約13トﾝが水揚げされ、早朝から市場は活気づきました。
(4月26日 塩竈市魚市場)

**パチリ！
タウンアイズ** 

※紙面に登場した方に写真を差し上げます。
市政情報係 ☎355-5728 までご連絡ください。



春の盆栽・山野草展示会

「盆栽・山野草愛好会」会員24人による盆栽23鉢、山野草53鉢の合計76作品が展示されました。作品はもちろん、植物によって鉢の形を考えたり、配置のバランスを考えたりと月2回行っている勉強会の成果を発揮していました。
(4月25日、26日 公民館)



島づくりの担い手へ

浦戸諸島に定住し、漁業に従事する「地域おこし協力隊」の委嘱状交付式が行われました。
任命されたのは仙台市出身の荒井啓汰さん。1カ月の実習が終わり、今後は漁業者の指導を受けながら、浦戸の「ノリ漁師」として島の担い手となるよう、研修を重ねていきます。
(5月1日 桂島ステイ・ステーション)



「おやじバンドライブ」10周年！

恒例の「おやじバンドライブ」が開催され、12組のバンドが熱演しました。
ロックやブルースなどジャンルもさまざまで、観客たちも聞きなじみのある曲があると一緒に口ずさむなど、会場は大いに盛り上がりました。
(5月4日 遊ホール)



離島に初の「番屋」完成

宮城県漁業協同組合が公益財団法人日本財団の支援を受けて、浦戸桂島に建設していた水産業関係者などの交流の場となる創業拠点「番屋」が完成し、式典が行われました。
島民が気軽に寄り添い懇談できるコミュニティエリアとして利用されるほか、浦戸支所の女性部が地元特産のカキやノリ、アナゴなど地元海産物を活用して新たな加工品の開発を行っていきます。
(5月1日 浦戸番屋)